

職場体験レポート

作成者

八幡浜市立松柏中学校

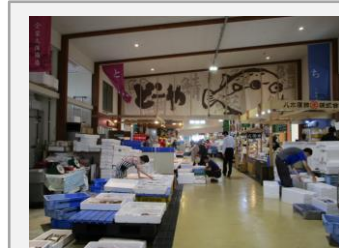
2年 氏名：和泉 創太

職場の紹介

タナカ鮮魚

住所：八幡浜市沖新田1581-23
特色：新鮮な魚類を下ごしらえし、販売
従業員：4人

事業所の写真



こんな職場です！

魚市場の競りで買った魚類を一定の数や量にまとめて並べたり、うろこをおとしたりして、「どーや市場」で販売しています。店先で売るだけでなく、配達販売なども行っています。



職場で体験したこと



【魚市場での競り】朝5：30までに職場に着いて、準備ができた時点で台車を運び、隣の魚市場で競りの手伝いをします。競りが始まると、台車を運びながら従業員さんについていき、競り落とした魚類や貝類、えびなどを台車に乗せて店まで運びます。競りの最中は立ち止まって、人の邪魔にならないように気を配ることが大切でした。

【接客の手伝い】競りが終わった後は、店の中で仕事をしました。10時過ぎからたくさんお客さんが来られるので、それまでに、貝類やえびなどを氷の入ったかごに一定の量ずつ入れて出します。スルメイカは数に分けてまとめます。量に関しては、基準より多かったり、少なかったりすることがないように気を付けま

した。お客さんが来られたときは、選ばれた商品を氷袋に詰めて渡す作業を行いました。渡す際は「ありがとうございました」とお礼を言いながら渡しました。

【店の裏での仕事】お客さんがいないときは、えびの皮を剥いたり、小さな魚のうろこを取ったりします。特にうろこを取る作業では、背ビレや尾ビレの近くの細かい場所まで取るのが大変でした。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

するめが幾つか売れて、場所が空いたときに新たに箱の中のするめを籠に並べて品出しをしました。そのとき1人の従業員さんが、「並べ方がとてもうまく、するめの数が多く見える」と誉めてくださったことがとても心に残っています。

大変だったこと、失敗したこと

2日目の10時過ぎぐらいにお客さんがたくさん来たとき、商品の袋詰めが大変でした。どのように袋詰めしたらいいかわからず、お客さんを待たせてしまいました。競りのとき、間違えて別の魚を運ぼうとしてしまい失敗しました。

感想

働く人の姿から学んだこと

競りの時間に魚市場でたくさんの人々が話し合い、笑っているのを見て、働くとは「仲間と助け合い、人との交友関係を築くために必要なこと」だと感じました。

全体を通して学んだこと

とにかく、人の迷惑にならないように周りに気を配ることが大切であるということです。従業員の人が競りをしている間は、たくさんの方がいる中なので、台車を置く位置にも気を付けました。また、立ち止まって他人の邪魔にならないように気を配るなど、細心の注意を払いました。自分のことだけでなく、周りにも気を配ることが必要だと感じました。